

豊かさ 創世記

第6部……風よ海を渡れ

> 1 <

交差点に陣取った戦車のた。海外の医師団は、薬や
砲身が人間の内に秘めた暗い暴性を暗示する。トラ
医療機器を満載した十ト
トラックや救急車を十台以上
も連ね、スタッフ約百人と
いうスケールで乗り込んで
いた。

ユーゴスラビア・コンボ
自治州の国境の町、プリズ
レン。硝煙のにおいが鼻を
突く。着いたその日、ドイ
ツ兵ら二人が銃撃戦で殺さ
れた。

上田はスタッフと二人で
菓を語めた段ボール箱を抱
えてやって来た。所属する
DAが奮闘し、金沢大病院
AMDAは、岡山市に本部
で治療を受けることになっ
て持つ日本でも活発な非政
府組織(NGO)の一つだ
た。

ことし五
が、年間予算は約四億円。
救援医療に関心を持った

月。小児科
ノーベル平和
医、上田明
賞を受賞した
彦(三)はコ
ソボに向か
った。最初
界で約二百五

十億円の資金を動かす。日
本政府はコンボ支援に約二
百四十億円を拠出し、国際
貢献を強調したが、上田ら
は救援の中心の難民キャン
プでは働かず、「現場での
を辞めてAMDAに登録し

コンボ救援で無力痛感

た。今ほ週に二、二度の夜
間当直医のアルバイトで食
いつなぎ、トルコ大地震や
ミャンマーを飛び回る。六
十万円だった月収は十四万
円に減った。

フランスでは、医師が救
援医療で休職した場合、同
弾丸が左もをも貫通し
た青年の傷を診て、戦争
はまだなくてもなく殺し合
なのだ実感した。トル
コでは、余裕などないは



存在感乏しい 日本のNGO

「元気でね」。ネジ
ル君と別れを惜しむ上
田明彦さん(左から2
人目) 成田空港
れた。

GOは個人の犠牲の上に
成り立つ。政府のNGO
に努力している。日本人
はそうした活動にほとん
ど参加せず、世界から
隔離されたように平安
を楽しんでいていいの
か」。国際社会でNGO
の発言力が大きくなる
中、疑問は深まるばかり
だ。

「今この時も地球上で
さまざまな悲劇が起こ
り、各国のNGOが必死
に努力している。日本人
はそうした活動にほとん
ど参加せず、世界から
隔離されたように平安
を楽しんでいていいの
か」。国際社会でNGO
の発言力が大きくなる
中、疑問は深まるばかり
だ。

事業補助金
は、一九九七
年度予算の十
二億円から九
九年度は九億
救えた。だがまだ一つだ
けだ。

◇ ◇

ネジールは難治療に成
功し、十二月に成田から
帰国した。見送りの上田
が紙飛行機の土産を渡す
と、上田に抱きつき、左
のほおにキスをした。
「セビヨルム！(大好き
だ)」。小さな命を一つ
救えた。だがまだ一つだ
けだ。

国際化の進展が、日本
人の生き方と日本社会の
在り方を問う。(敬称略)